

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-66	高 等 学 校	国 語	論 理 国 語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
143 筑摩	論国 710	論理国語		

1. 編修の基本方針

● 教科書の理念

この教科書は、「教育基本法」「学校教育法」の規定や理念を踏まえ、特に以下の点に留意して編修しました。

- ①豊かな人間性・創造性を身につけさせる。
- ②平和で民主的な国家及び社会の形成者たる人物を育成する。
- ③社会において果たさなければならない使命を自覚させる。
- ④それぞれの個性に応じた進路を決定するのに必要な一般的な教養を高める。
- ⑤社会について、広く深い理解と健全な批判力を養う。
- ⑥社会の発展に寄与する態度を養う。

● 教材の選定と配列

教育基本法第2条の1～5号に示された教育の目標を達成するために必要な教材を精選して掲載しました。教材の選定と配列にあたっては、次のような点に意を用いました。

- ①実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることができるように幅広い題材から教材を選定しました。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、さまざまな観点から物事を捉えたり対象化したりすることで、周囲や社会について健全な批判力を養うことのできる教材を選定しました。
- ③適切にことばや文章を用いて表現することのできる力を養い、他者と深く、また幅広いコミュニケーションをはかる意欲を喚起する教材を選定しました。
- ④幅広いテーマを取り上げることで、深い知識と教養を身につけ、生涯にわたって主体的・対話的で深い学びへと導かれるよう意を払いました。
- ⑤教材がたがいに有機的に繋がり、学習が進むにつれ、国語の資質および能力が的確に身につけていくことを意識して教材を配列しました。
- ⑥「思考力・判断力・表現力」の2領域のうち、「書くこと」については4単元、「読むこと」については13単元を配置し、また言語活動例として「実践」を適宜設け、効果的に言語能力を高めることができるよう配列しました。

● 学習を支える工夫

各単元および教材を通じて、高校生の資質・能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導くために、次のような点に意を払いました。

- ①単元の目標：第一部・第二部の冒頭に、それぞれの単元を通じて身につけたい資質・能力を端的に示しました。また、「書くこと」「読むこと」の2領域の、どの領域をのぼす単元であるかを明示しました。
- ②視点：教材の冒頭に、身につけたい資質・能力について、教材の着目すべき点を掲げました。
- ③学習：教材の末尾に「課題」「構成」「読解」「言語活動」「キーワード」「重要漢字」を設け、資質・能力を身につけるにあたって、教材のどのような点を活用することができるかを明示しました。
- ④実践：言語能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導く具体的な言語活動を適宜示しました。
- ⑤学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意いたしました。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条第一号から第五号との対応を下記に示します。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第一部		
1) 架橋することば 《読む》 ・アイオワの玉葱（長田弘） ・一〇〇パーセントは正しくない科学（更科功） ・物語るという欲望（内田樹）	「アイオワの玉葱」や「100パーセントは正しくない科学」および「物語るという欲望」を通して、人と世界を結ぶことばの働きを理解して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。（第1号）	p12～39
2) 日常の中の論点 《読む》 ・ファッションの現象学（河野哲也） ・地図の想像力（若林幹夫） ・本当は怖い「前提」の話（川添愛）	「ファッションの現象学」ではファッション、「地図の想像力」では地図、「本当は怖い『前提』の話」では話の「前提」と、生徒たちの身近な日常から、物事を分析し、正義と責任、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。（第3号）	p40～67
3) 〈私〉のいる場所 《書く》 ・近代の成立——遠近法（橋爪大三郎） ・沖縄戦を聞く（岸政彦） ・デジタルされる世界（オリヴィエ・レイ／池畑奈央子訳）	「近代の成立——遠近法」「デジタルされる世界」を通じて、偏見や先入観にとらわれずに物事を見ることを学び、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。また「沖縄戦を聞く」を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。（第1号・第5号）	p68～92
実践① 多様な文章に触れよう——法令文・新聞記事《読む》 〈参考〉憲法の力を生かすには（木村草太）	法令文や新聞記事をもとに多様な文章に触れ、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。（第3号）	p93～101
4) 変貌する時代、変貌する人間 《読む》 ・人新世における人間（吉川浩満） ・現代日本の開化（夏目漱石） ・変貌する聖女（川島慶子）	「人新世における人間」「現代日本の開化」「変貌する聖女」を通して、社会が抱える様々な問題を人々に訴える評論文の力を読み取り、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。（第3号）	p102～125
5) 歴史に向き合う 《読む》 ・異時代人の目（若桑みどり） ・莊子（湯川秀樹） ・日本の社会は農業社会か（網野善彦） ・羅針盤①古典に探る論理	「異時代人の目」「莊子」「日本の社会は農業社会化」を通して、古典や歴史に向き合う態度を学び、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。（第5号）	p126～149

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
6) 世界を視る位置 《読む》 ・ファンタジー・ワールドの誕生(今福龍太) ・生物の作る環境(日高敏隆) ・貧困は自己責任なのか(湯浅誠)	「ファンタジー・ワールドの誕生」「生物の作る環境」「貧困は自己責任なのか」を通して、多面的な視点から物事をとらえることを学び、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p150 ~ 173
7) 〈伝統〉を見つめ直す 《書く》 ・模倣と「なぞり」(尼ヶ崎彬) ・桜が創った「日本」(佐藤俊樹) ・清光館哀史(柳田國男)	「模倣と『なぞり』『桜が創った『日本』『清光館哀史』を通して、「伝統」がどのように根付いていくのかを学び、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。(第5号)	p174 ~ 199
実践② レポートを書こう 《書く》	レポートの書き方を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができました。(第2号)	p200 ~ 201
8) 現代という課題 《読む》 ・男の絆、女たちの沈黙(尹雄大) ・トリアージ社会(船木亨) ・権力とは何か(杉田敦)	「男の絆、女たちの沈黙」「トリアージ社会」「権力とは何か」を通して、現代社会が抱く課題を学び、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p202 ~ 227
9) 〈私〉をひらくために 《読む》 ・ビッグデータ時代の「生」の技法(柴田邦臣) ・「である」ことと「する」こと(丸山眞男)	「ビッグデータ時代の『生』の技法」「『である』ことと『する』こと」を通して、自己の経験から広い視野へと導いていく評論の力を学び、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができました。(第2号)	p228 ~ 249
実践③ 資料や情報を吟味して、自分の考えにつなげよう 《読む》 〈参考〉読書とはツッコム事と見つけたら(山本貴光)	データなど資料や情報を吟味して思考を深める実践を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p250 ~ 255
第二部		
1) 多様性のほうへ 《読む》 ・ピジンという生き方(管啓次郎) ・「自然を守る」ということ(森岡正博) ・虚ろなまなざし(岡真理)	「ピジンという生き方」「虚ろなまなざし」を通して、社会の多様な価値観を学び、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができました。また「『自然を守る』ということを通して環境問題の論点を学び、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全の寄与する態度を養うこと。(第2号・第4号)	p260 ~ 281

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
2) 抽象から具体へ 《書く》 ・物語と歴史のあいだ (野家啓一) ・貨幣共同体 (岩井克人) ・ぼくらの民主主義なんだぜ (高橋源一郎)	「物語と歴史のあいだ」では歴史、「貨幣共同体」では貨幣、「ぼくらの民主主義なんだぜ」では政治という、抽象的な概念を明晰な論理構成で論じた文章を通じて、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p282 ~ 303
実践④ 自分の経験や考えを効果的に書いてみよう 《書く》	自己PR文の書き方を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うこととともに、職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号)	p304 ~ 305
3) 可視化する力 《読む》 ・つながりと秩序 (北田暁大) ・真実の百面相 (大森荘蔵) ・死の恐怖について (エリザベス・キューブラー＝ロス/鈴木晶訳)	「つながりと秩序」ではネットワークの発達によるコミュニケーションの変化、「真実の百面相」では客観的に捉えるということの難しさを学び、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。また「死の恐怖について」では死生学について学び、生命を尊ぶ態度を養うようにしました。(第1号・第4号)	p306 ~ 331
4) 語りと世界 《読む》 ・ことばへの問い (熊野純彦) ・物語としての自己 (野口裕二) ・ポピュリズムとは何か (森本あんり) ・羅針盤②物語の中の論理	「ことばへの問い」「物語としての自己」を通して、ことばの働きを考え、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。また「ポピュリズムとは何か」を通して、ポピュリズムということばが内包する問題を考え、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第1号・第3号)	p332 ~ 353
5) 「当たり前」を疑う 《書く》 ・思考の誕生 (蓮見重彦) ・絵画の二十世紀 (前田英樹) ・日本文化私観 (坂口安吾)	「思考の誕生」「絵画の二十世紀」「日本文化私観」を通して、自分とは異なる他者の思考に耳を傾け、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。(第2号)	p354 ~ 377
6) 「近代」を再読する 《読む》 ・主義は広大なるべき事 (福沢諭吉) ・自由の説——「東洋自由新聞」第一号社説 (中江兆民) ・何のための「自由」か (仲正昌樹) ・羅針盤③先人の文章から学ぶ	「主義は広大なるべき事」「自由の説」を通して明治時代に書かれた文章を読み解き、また「何のための『自由』か」を通して現代にも通じる問題を学び、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第5号)	p378 ~ 396
実践⑤ 複数の主張を比較してみよう——多角的読書のすすめ 《読む》	複数の主張を読み比べる手法を学ぶことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p397

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
7) 記号がつくる世界 《読む》 ・ものごと (木村敏) ・「病気」の向こう側 (田中祐理子) ・過剰性と希少性 (佐伯啓思)	「ものごと」「病気」の向こう側「過剰性と希少性」を通して抽象的な概念をことばで捉え、論じる手法を学び、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p398 ~ 427
8) よみがえる問い 《読む》 ・記憶の満天 (西谷修) ・戦争と平和についての観察 (中井久夫)	「記憶の満天」「戦争と平和についての観察」を通して、ことばの根本的な意味を突き詰めて考え、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。また、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。(第1号・第5号)	p428 ~ 445
実践⑥ 論文を読んで、これまで行われてきた研究をまとめよう 《書く》	論文の書き方を学ぶことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p446

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・「現代の国語」の学習内容の成果を発展拡充させて、「論理国語」でも豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うために、教材および「実践」などの言語活動におけるテーマや内容に意を用いました。(学校教育法第51条第一号)
- ・「実践」における言語活動および「読書案内」で紹介した書籍、「羅針盤」などのコラムを通して、社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させることに意を払いました。(学校教育法第51条第二号)
- ・現代社会をテーマとする文章を扱い、また、複数の資料を比較して読むことにより、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うようにしました。(学校教育法第51条第三号)
- ・教材にはユニバーサル・フォントを用いて、多くの人の読みやすい紙面づくりに配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103—66	高 等 学 校	国 語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
143 筑摩	論国 710	論理国語		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則および「論理国語」に掲げられた目標を効果的に達成するために、特に以下の点に留意して編集しました。

- ①**育成したい資質・能力を明確化した単元構成** 単元は、生徒に身につけさせたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」をもとに構成しました。「思考力・判断力・表現力」については、「書くこと」「読むこと」の、どの領域に関する言語能力を身につけたいかを分かりやすく示しました。
また単元ごとに「単元の目標」を示し、生徒が各単元を通じて、どのような資質・能力を身につけることができるのか、見通しを立てたり、学習後の振り返りを行ったりすることができるようにしました。掲載した教材にはそれぞれ冒頭に「視点」を示し、各教材を通じて身につけたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を意識的に学習できるようにしました。
- ②**発達段階に応じた教材を厳選** 生徒の心身の発達段階を十分に考慮して、「現代の国語」からの移行が円滑にできるよう、親しみやすい教材から、問題意識の鮮明な教材まで厳選して掲載しました。また、教材として適度な長さで、なおかつ奥行きのある文章を選びすぎりました。
- ③**「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す「実践」** 言語活動例として適宜「実践」を示し、「主体的・対話的で 深い学び」を行うことができるようにしました。
- ④**学習者の自学自習に便利な工夫** 教材の理解を助けるために、脚間を付して、文脈を的確に捉えることができるようにしました。また手引きとして「学習」を設け、教材の内容や目的を正確に捉えることができるようにしました。各見開きに重要漢字・語句を、「学習」には「重要漢字」を付し、生徒の語彙を増やすことができるように工夫しました。
- ⑤**読書指導の充実** 「学びに向かう力、人間性」を支える工夫として、読書の意義を理解できるように適宜「読書案内」を設け、また教材ごとに、著者の主な著書を紹介しました。
- ⑥**誌面の工夫** 全体に見やすいレイアウトとなるよう配慮するとともに、学習の効率化と活性化を図るために多色刷りを用い、必要な図版や地図などを適宜カラーで掲載しました。また、多くの生徒の読みやすさに配慮して、ユニバーサル・デザイン・フォントを用いました。
- ⑦**デジタル・コンテンツ** 学習を深める手立ての一つとして、教材に関するインターネット上の情報を適宜示し、二次元コードを用いて、情報を示したウェブページを掲載しました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
第一部					
1) 架橋することば 《読む》	・アイオワの玉葱（長田弘） ・一〇〇パーセントは正しくない科学（更科功） ・物語るという欲望（内田樹）	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p12 ～ 39	6
2) 日常の中の論点 《読む》	・ファッションの現象学（河野哲也） ・地図の想像力（若林幹夫） ・本当は怖い「前提」の話（川添愛）	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p40 ～ 67	6
3) 〈私〉のいる場所 《書く》	・近代の成立——遠近法（橋爪大三郎） ・沖縄戦を聞く（岸政彦） ・デジタル化される世界（オリヴィエ・レイ／池畑奈央子訳）	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p68 ～ 92	8
実践① 《読む》	多様な文章に触れよう——法令文・新聞記事 (参考) 憲法の力を生かすには（木村草太）	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p93 ～ 101	2
4) 変貌する時代、変貌する人間 《読む》	・人新世における人間（吉川浩満） ・現代日本の開化（夏目漱石） ・変貌する聖女（川島慶子）	(1)イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p102 ～ 125	7
5) 歴史に向き合う 《読む》	・異時代人の目（若桑みどり） ・荘子（湯川秀樹） ・日本の社会は農業社会か（網野善彦）	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p126 ～ p149	7
6) 世界を視る位置 《読む》	・ファンタジー・ワールドの誕生（今福龍太） ・生物の作る環境（日高敏隆） ・貧困は自己責任なのか（湯浅誠）	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	A ア, ウ, エ, オ	p150 ～ 173	7

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
7) 〈伝統〉を見つめ直す 《書く》	・模倣と「なぞり」(尼ヶ崎彬) ・桜が創った「日本」(佐藤俊樹) ・清光館哀史(柳田國男)	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p175 ～ 199	8
実践② 《書く》	レポートを書こう	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ, ウ (3)ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p200 ～ 201	8
8) 現代という課題 《読む》	・男の絆、女たちの沈黙(尹雄大) ・トリアージ社会(船木亨) ・権力とは何か(杉田敦)	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p202 ～ 227	6
9) 〈私〉をひらくために 《読む》	・ビッグデータ時代の「生」の技法(柴田邦臣) ・「である」ことと「する」こと(丸山眞男)	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p228 ～ 249	6
実践③ 《読む》	資料や情報を吟味して、自分の考えにつなげよう (参考) 読書とはツッコム事と見つけたら(山本貴光)	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p250 ～ 255	2
第二部					
1) 多様性のほうへ 《読む》	・ピジンという生き方(管啓次郎) ・「自然を守る」ということ(森岡正博) ・虚ろなまなざし(岡真理)	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p260 ～ 281	6
2) 抽象から具体へ 《書く》	・物語と歴史のあいだ(野家啓一) ・貨幣共同体(岩井克人) ・ぼくらの民主主義なんだぜ(高橋源一郎)	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p282 ～ 303	8
実践④ 《書く》	自分の経験や考えを効果的に書いてみよう	(1)ア, イ, ウ, エ (2)ア, イ (3)ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p304 ～ 305	5

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
3) 可視化する力 《読む》	・つながりと秩序 (北田暁大) ・真実の百面相 (大森荘蔵) ・死の恐怖について (エリザベス・キューブラー＝ロス/鈴木晶訳)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p306 ～ 331	7
4) 語りと世界 《読む》	・ことばへの問い (熊野純彦) ・物語としての自己 (野口裕二) ・ポピュリズムとは何か (森本あんり)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p332 ～ 353	6
5) 「当たり前」を疑う 《書く》	・思考の誕生 (蓮見重彦) ・絵画の二十世紀 (前田英樹) ・日本文化私観 (坂口安吾)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p354 ～ 377	8
6) 「近代」を再読する 《読む》	・主義は広大なるべき事 (福沢諭吉) ・自由の説——「東洋自由新聞」第一号社説 (中江兆民) ・何のための「自由」か (仲正昌樹)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p378 ～ 396	7
実践⑤ 《読む》	複数の主張を比較してみよう——多角的読書のすすめ	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p367	2
7) 記号がつくる世界 《読む》	・ものごと (木村敏) ・「病気」の向こう側 (田中祐理子) ・過剰性と稀少性 (佐伯啓思)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p398 ～ 427	7
8) よみがえる問い 《読む》	・記憶の満天 (西谷修) ・戦争と平和についての観察 (中井久夫)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p428 ～ 445	6
実践⑥ 《書く》	論文を読んで、これまで行われてきた研究をまとめよう	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ (3) ア	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ	p446	5

計 140

